

同志社大・三菱地所・森ビル、知的照明システムの実証実験

362 語

2010 年 2 月 26 日

日刊工業新聞 News ウェーブ 21

NIKWAV

014

日本語

© 2010 日刊工業新聞 All Rights Reserved.

日刊工業新聞社

同志社大学と三菱地所、森ビルは25日、丸の内と六本木の2カ所で知的照明システムの実証実験を同時に始めたと発表した。知的照明は人工知能を用い、発光ダイオード(LED)照明と蛍光灯照明の照度・色温度を制御するシステム。予備実験ではオフィスビル全体の消費エネルギーの2割超を占める照明エネルギーを約3-4割削減できた。実際のオフィスで1年間の実証実験を経て、来年に実験用プロトタイプ完成、3年後をめどに製品化する方針。

実証実験は新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成を受け、東京ビルディング(東京都千代田区)内の三菱電機社員42人、六本木ヒルズ森タワー(同港区)内の森ビル社員27人を対象に実施。同システムを開発した三木光範同志社大教授は「温暖化削減の切り札になる」とし、5年後の新築オフィスの標準仕様に向け開発を進める。

文書 NIKWAV0020100225e62q0002d

© 2010 Factiva, Inc. All rights reserved.